

1 2002.3.15

アイル共和国本日成立す。戦禍の過ぎるは喜ばしくもタカン人たる私としては国号にアイルを冠するはなかなかの不服なり。されど、多数派はアイル人にして彼らもまたラネーメの民なればかく称するも仕方あるまい。されどラネーメ共和国の名を冠さざるは何故か。

2

さて、当面の代表にエルガナ・ツワイ・ズサ擁立す。願わくばその敏腕により政を揮わんことを。ただ、彼はリパラオネ教の民にして、土着の心を忘るるやも知れぬ。

3

敢えて心人としてこの国を見れば、民の混乱未だ拭えず。多勢を以てこの狭き皇帝領に住処を移しし折、家を失い、夜通し酒飲み、裁(シュ)を打ち、持てる財産総て失い、心を虚にする者甚だ多し。未だ官整わざるに、民を救うは難きこと。それは承知している積りなれども、心を失う民の哀れに、落ちるべき涙さえ落ちることなし。

4

酒を飲むも裁を打つも、皆々心在りての事なれども、エルガナ未だ民心を知らず。これを訴えるも、「宗教人は黙って置け、中央政府の整備が優先だ。どうして初手に皇を動かせようか。」との風の皮肉を言われ、心圧(カベ)甚だしく、言い返す術も見つからず。

5

改めて内省し、エルガナの言の如く、直下の目標は内政の整備にあると知る。如何に民を重んずとも、内政なくしてその力民に及ばず。さても文民として今すべきは何ぞ。夏(シヨウ)に問いては、「民に道を正しく伝うべし」と。さても正しきとはなんぞや。これエルガナの道に異ならずや。

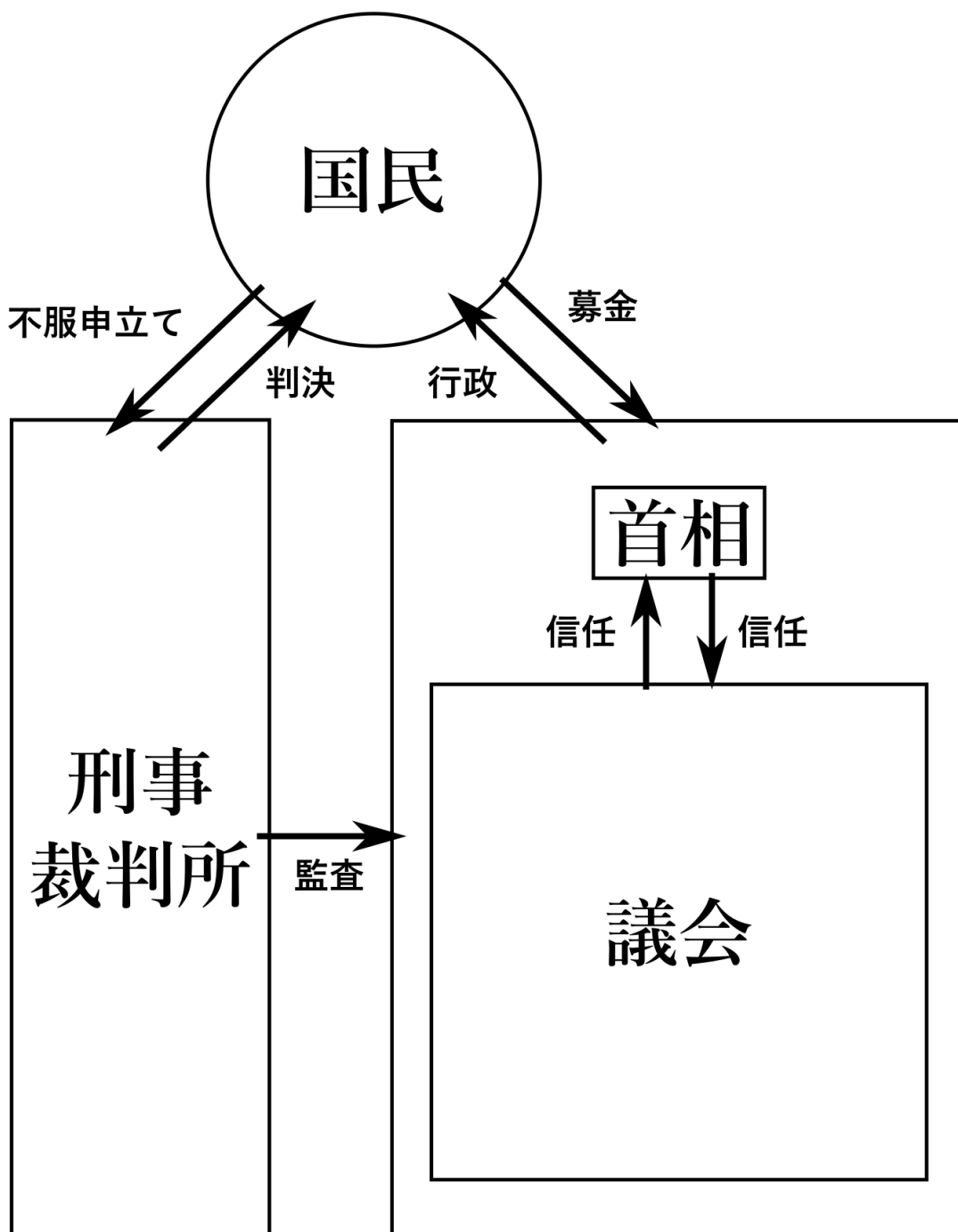
2003年にはPMCFがユエスレオネに発見される

天上より怪しげなる箱降らると言う。

さても大移動の折、上に登りし民々の道に迷いて下りぬ。困れる民の数多なれば、相通ず言葉も甚だ多し。今に至りてはアイル語のみただ公用の言葉にして、またも迷い

2004年に入るとカーダン通訳事件

プロット



2002年	アイル共和国建国(3月15日) 東諸島共和国連合(PMCF)成立 ヴェルガナ首相の下で、文化省大臣として上水は協力体制を取る。
2003年	PMCFがユエスレオネに発見される(12月6日)

	ユエスレオネ革命の政治難民が流入する 自治体議会決議111号が議会言語を全ての民族に中立的な物を採用すると規定
2004年	PMCFにおける新左翼の成立(『革命序説』の影響) カーダン通訳事件 ユエスレオネ難民のアイル共和国における言語保障請求が始まる ショレゼスコ 難民に対する扱いの差でヴェルガナ、上水は決裂。
2005年	ヴェルガナ・トゥワイ・ズユザによる弾圧(8月21日) 弱体化→(淮・里主導)PMCF連合軍の介入→上水ら(内訳、反高天勢力+新左翼学生+上水ら皇論勢力+ユエスレオネ難民+銃を持った謎の民間人(軍服を着ていてリパライン語を話す))による蜂起(10月8日) 暴力派と非暴力派との間での上水の葛藤 終結(12月15日)
2006年	東島通商語の議会言語への採用 ヴェフィス共同体の成立
2007年	
2013年	アイル共和国とヴェフィス共和国がリナエスト共和国に宣戦布告
2014年	リナエスト内戦

上水が言いそうなこと

「今の大きな問題の解決を優先せよ。」